

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 31年1月7日

嶮山小通信

1月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代



新年に思うこと

校長 山口 昭代

2019年がスタートいたしました。みなさま、よいお正月を迎えられたでしょうか。

空気が澄んで、視界の開けた風景の中に、遠く雪を抱く富士山を望むことができた元旦でした。この一年をよい年にしようと、多くの人が願い、祈ったであろう美しい年明けに、私も、嶮山小学校の子どもたち、保護者、地域、職員、関係する人々にとりまして、この一年が、健やかで希望に満ちた年となりますことを、思いを込めて願いました。

昨年、冬休み前の朝会で、子どもたちに、冒険家、プロスキーヤーの三浦雄一郎さんの南米大陸最高峰アコンカグア（6959メートル）登頂への挑戦についての話をしました。三浦さんは86歳という、一般的には高齢といえる年齢で7000メートル峰の登頂を目指すとともに、スキーで滑降することまで目的に掲げています。ただただ、三浦雄一郎さんの驚異的な意志と意欲と精神力に圧倒されます。

しかし、この挑戦を、無理とか無謀とか夢物語に終わらせない実績と目標分析と鍛錬と強運と、何より優秀で有能な仲間やスタッフに恵まれていることに、実現可能への希望と期待が胸に大きく広がります。

登山とスキーの練習は、北海道の11月の初雪を待って、札幌市の手稲山（余談ですが、ここは養護教諭の飯塚先生の故郷で、帰省の度に飯塚先生もこのスキー場でスキー練習に励んでいます。）にて雪上トレーニングを始め、1月2日には、日本を発って、南米アンデス山脈の標高3000メートル超えのスキー場で合宿をスタートさせた模様です。その傍らには、息子の豪太氏を含むドリームチーム7名が常に行動をとともにしています。

◎空を飛ぶ鳥のように、海を泳ぐイルカのように、自由に雪山をスキーで滑る。

◎86歳の超高所でのスキー滑走は、若き日のようにいかなくとも、年齢を言い訳にせず、出来ない理由より出来る理由を考えて元気に輝く。

（三浦雄一郎、三浦豪太 ACONCAGUA2019 より）

私自身はと言えば、1月2日は箱根に宿泊し、旧走路であった函嶺洞門の目の前で、両日とも5区、6区を走る選手の応援をし、毎年のことながら、実にすがすがしい気持ちをもたらしました。

若者の力強い確かな歩みからも、知恵と勇気と人とのつながりを力とする、人生の大先輩からも、夢をもち、実現のために弛まぬ努力を継続することの尊さを学びます。日々を、丁寧に一生懸命に生きること、それを今年も大切にしていきたいと思います。

まだまだ、寒さ厳しく、感染症予防に気の抜けない日々が続きます。手洗い、うがい、基本的な生活リズムの確立を心がけながら乗り切って参りたいと思います。みなさま、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。